

平成 29 年 10 月 22 日執行衆議院議員選挙 調査結果の概要

1 年代別の投票行動

(1) 年代別の比較

21 歳～24 歳 (30.88%) が最も低く、年齢層が上がるとともに、高くなっており、70 歳～74 歳 (71.85%) で最も高くなり、80 歳代以上 (48.69%) では低下している。

(2) 前回衆議院議員選挙との比較

前回衆院選 (H26) と年代別の投票率を比較すると、30 歳代以下の年代では 1 ポイント以上下回っており、特に 20 歳で前回は 8 ポイント以上下回っている。

なお、全体の投票率 (公式結果) は、53.64% で、前回衆院選の 54.36% に比べて 0.72 ポイント低くなっている。

2 男女別・年代別の投票行動

19 歳及び 20 歳、21 歳～24 歳、70 歳以上の各層を除き、女性の方が男性より高くなっている。特に、30 歳～34 歳では、男性 38.71%、女性 41.35% で、その差が 2.64 ポイントと最も大きくなっている。

なお、全体の男女別投票率は、男性 53.73%、女性 53.55% で、男性が女性を 0.18 ポイント上回った。

3 地域別・年代別の投票行動

区部、市部地域で 70 歳代が最も高く、20 歳代が最も低くなっている。また、郡部では 60 歳代が最も高く 20 歳代が最も低くなり、島部では 60 歳代が最も高く 10 歳代が最も低くなっている。

なお、地域別の投票率 (公式結果) をみると、区部 53.04%、市部 54.92% で、区部が市部を 1.88 ポイント下回っている。

4 区部地域別・年代別の投票行動

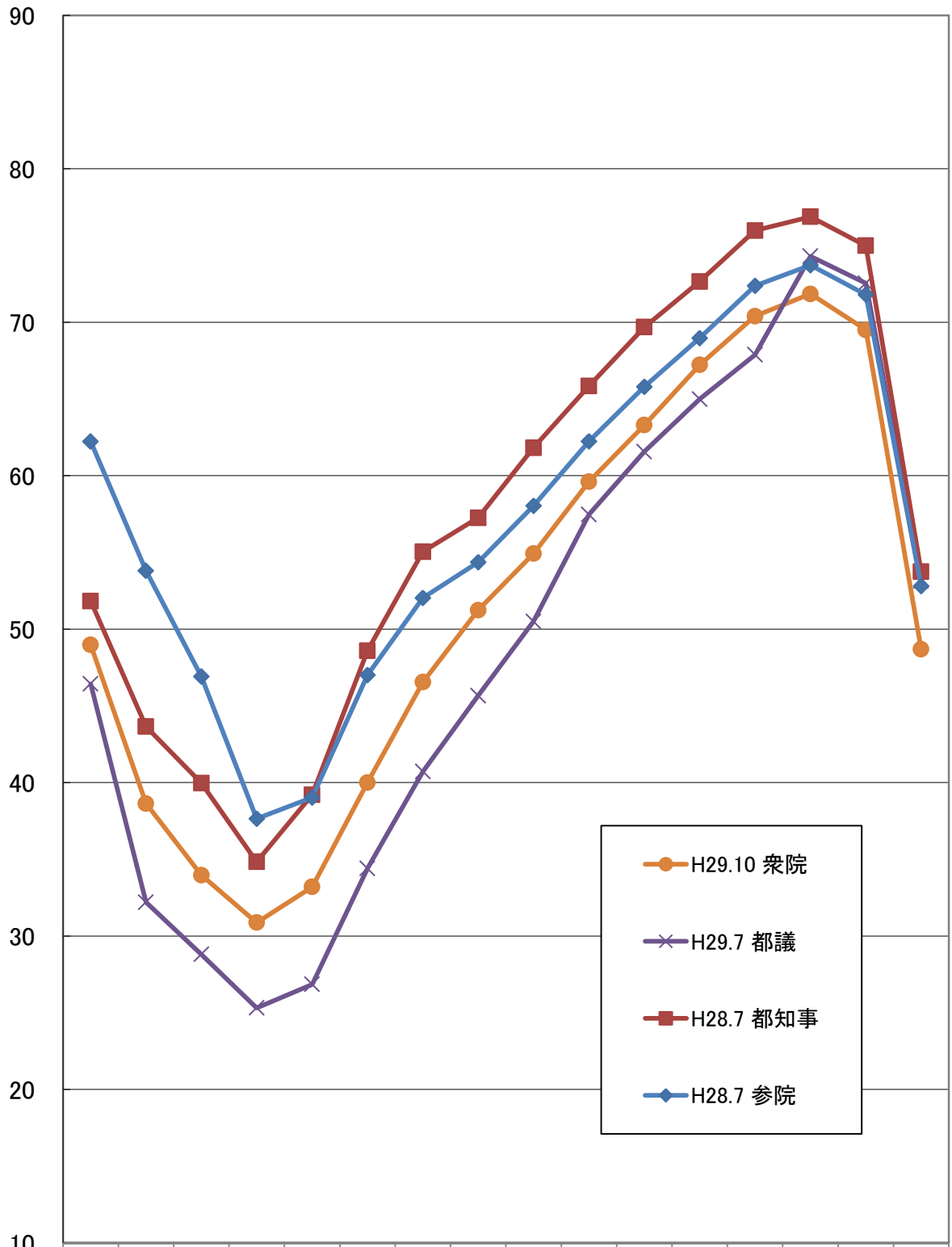
特別区をさらに、①都心地域、②城南地域、③城西地域、④城北地域、⑤城東地域の5つに分け、地域ごとの概要をまとめている。

なお、26市5町8村については、面積が広く、また区部に比較すると人口が集積していないことから、地域を区分けして集計・分析は行っていない。

(注) 平成26年12月14日執行衆議院議員選挙を「前回衆院選」と略した。

年代別・選挙別推定投票率一覽

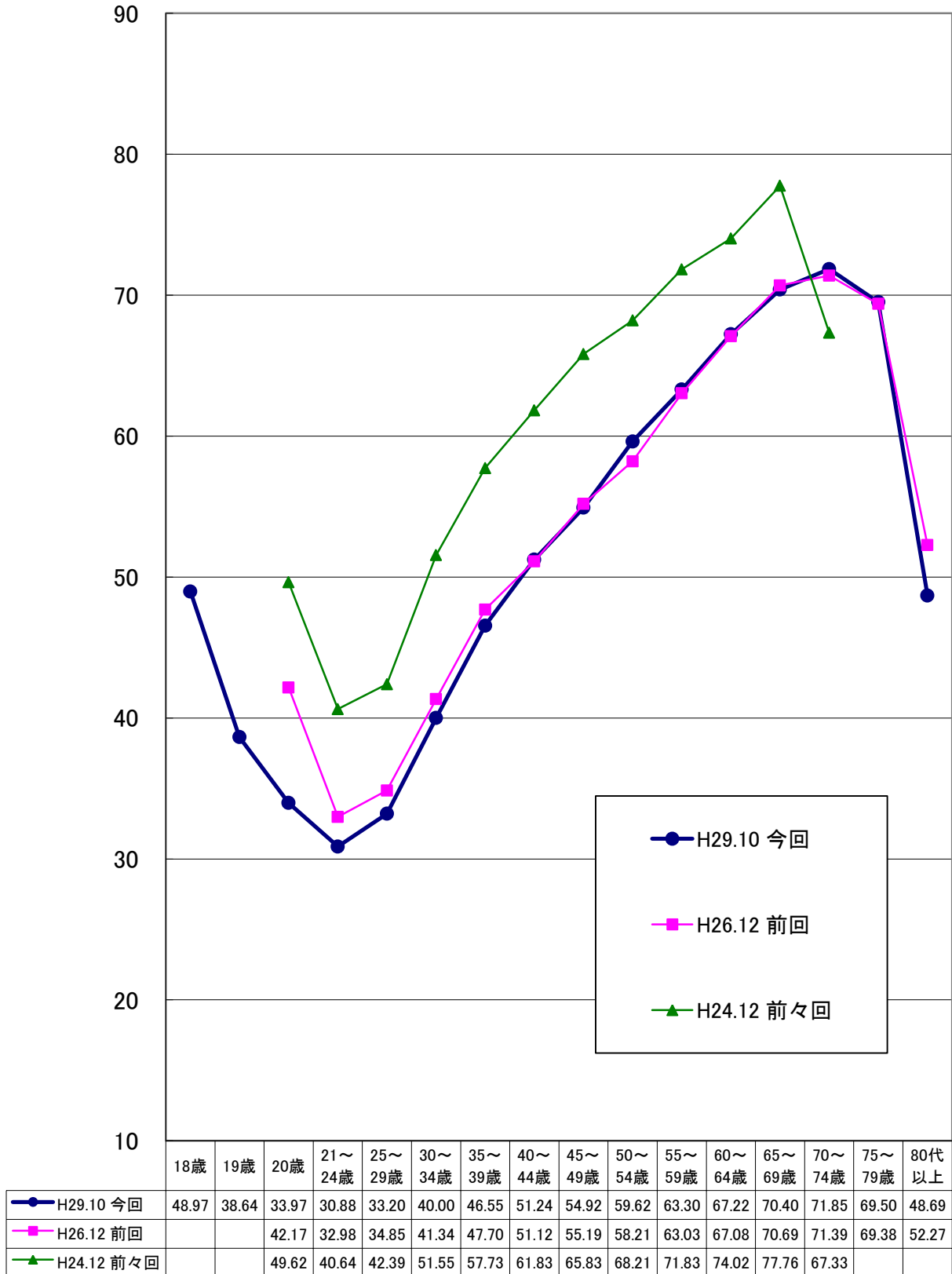
(単位: %)



	18歳	19歳	20歳	21～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80代以上
H29.10 衆院	48.97	38.64	33.97	30.88	33.20	40.00	46.55	51.24	54.92	59.62	63.30	67.22	70.40	71.85	69.50	48.69
H29.7 都議	46.43	32.20	28.81	25.32	26.85	34.41	40.72	45.66	50.50	57.48	61.57	64.99	67.88	74.30	72.54	53.14
H28.7 都知事	51.83	43.65	39.97	34.84	39.21	48.59	55.05	57.26	61.83	65.85	69.68	72.66	75.97	76.88	74.99	53.75
H28.7 参院	62.23	53.80	46.91	37.65	39.03	47.01	52.04	54.36	58.04	62.24	65.80	68.97	72.38	73.72	71.81	52.81

年代別推定投票率一覧(衆議院議員選挙)

(単位: %)



※前々回の70～74歳欄の数値は、70歳代以上の数値である。